

◆センター長挨拶

4月1日に115名の新入生を迎え愛知医科大学の平成28年度が晴れ晴れしくスタートしました。また、同日には白衣式も行われ、新5年生にスチューデント・ドクター証が授与され、3年目を迎えた新病院に新たに99名の臨床の仲間を迎え入れることができました。毎年4月は非常に心躍る時期ですが、今年も楽しい1年になりそうです。

さて、医学教育センターも新年度にあたり、私、センター長に加え、新たに副センター長、専任教授を迎え入れ、さらには昨年7月に編成した医学教育センターの各部門の担当教員を再編成して、新体制で新たなスタートを切りました。昨年からの医学教育の様々な改革を行ってきましたが、今年はそれをさらに加速させて愛知医科大学の医学教育の推進に臨む所存であります。

本学は平成30年に医学教育の国際認証を受審する予定としており、これからの2年は非常に重要な期間となります。医学部・病院の職員のみなさまにはこれまで以上に医学教育へのコミットをお願いすることになるかと思いますが、何卒どうかよろしくお願いいたします。



◆副センター長挨拶

4月1日付けで副センター長を拝命いたしました、小児科の奥村でございます。愛知医大に赴任して3年が過ぎ、医学生、研修医教育に大分馴染んできましたこの時期に副センター長という重要な任務を与えられ、身の引き締まる思いとともに、教育改革の先頭に立つことができることに心躍る思いであります。

臨床前から臨床、そして卒後のシームレスな教育の重要性が叫ばれておりますが、そのためには1年生の時期から常に卒後のアウトカムを見据えた医学教育を行っていく必要があります。新体制となった医学教育センターでは、医学生が良医に育っていくために必要なコンピテンシーを見据えた医学教育、すなわちアウトカムに基づく教育、をすべての学年のすべての医学生に授けられるよう尽力したいと考えております。どうかよろしくご協力をお願いいたします。



◆専任教授挨拶

4月1日に愛知医大に赴任して参りました宮田です。12年間の地域医療実践の後に大学に移り、地域医療、総合診療を中心とした医学教育および研修センター業務などに関わってきました。

国際認証、新専門医制度など、医学教育は常に改革の嵐が吹き荒れております。教育の負担は増すばかりのように感じられるかもしれませんが、良い教育のあるところに人は集まっているのは間違いのないことであり、教育なくしてその組織の活性化、発展はないと思っております。我々教員、指導医が、医学生、研修医、若手医師とともに学び、そして教え合うことで、これまで以上に良好な学習環境（learning climate）が愛知医大に構築され、更に多くの活気ある若者が集う愛知医大となるよう尽力して行きたいと思っております。どうかよろしくご願いたします。



◆医学教育センターの新体制 ～平成 30 年の医学教育国際認証に向けて～

医学教育センターには下記の 9 部門・1 組織が昨年 7 月に構築され、本年 4 月に部門長が刷新されました。平成 30 年の医学教育の国際認証に向けて各部門長を中心に医学教育の推進が計られることになっています。

部門名	責任者
管理室	宮田靖志教授
IR 部門	宮田靖志教授
企画広報部門	宮田靖志教授
臨床実習前教育部門	今井裕一センター長 細川好孝教授
臨床実習教育部門	奥村彰久副センター長
試験管理部門	細川好孝教授 佐藤元彦教授 石橋宏之教授
FD 部門	宮田靖志教授
進級支援部門	池田洋教授 藪下廣光教授 兼本浩祐教授 宮田靖志教授
地域梓学生支援部門	柴田英治教授
国家試験対策部門	石橋宏之教授

◆平成 28 年度新入学生合宿研修が行われました

平成 28 年 4 月 5 日、6 日の 1 泊 2 日で、新入生のコミュニケーション研修が三河湾リゾートリンクスにて行われました。この研修には三宅理事長、佐藤学長、岡田医学部長をはじめ多くの教員が駆けつけてくださり、新入生に暖かい激励の言葉をかけていただきました。

グループワークを交えての自己紹介で十分に気分をほぐした後に、各教員からのメッセージをいただきました。三宅理事長は、医療人入門と題して、本学の歴史・使命・教育理念、そして医学の奥深さをお話しされ、伝統ある愛知医科大学を受け継いでいくための心得を学生に伝えていただきました。

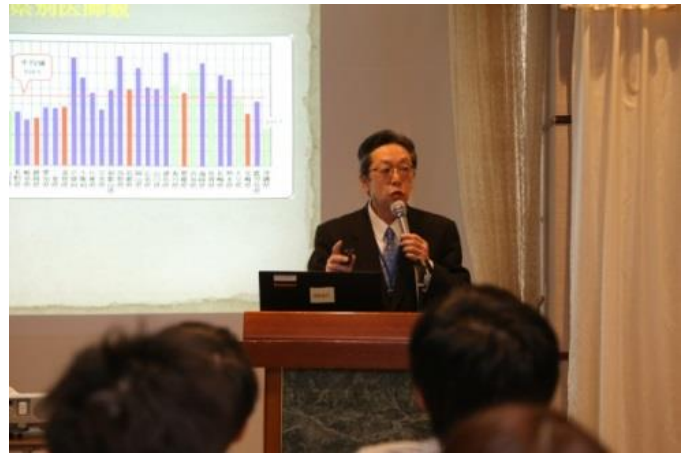
佐藤学長は医学生への心構えと題して、医療を取り巻く環境の激変とそれに対応するための医学生としての心構えをお話しされました。両先生の熱いメッセージに、医学生は医師になって社会貢献することの厳しさとやりがいを確認しました。

岡田医学部長は、医学生生活の落とし穴と題して、医学生として広い教養と医学知識を学修するために必要な態度についてお話しされ、ややもすると医学部入学で緩みがちな気分を医学生は引き締め直していました。

その他、センター長講演（今井教授）、臨床系トーク（石橋教授、奥村教授、高見教授、出家教授、中野教授、三嶋教授、松山教授、小林教授、瓶井教授、若槻教授、武山教授）、先輩からのメッセージ（青木講師）、オリエンテーリング、そして 1 日目の夜には立食形式の夕食によって学生と教職員がコミュニケーション、と盛りだくさんの充実の 2 日間で、新入生は週明けからの医学部講義のスタートに、より一層、胸を躍らせることとなりました。



<合宿研修の様子>



◆平成 28 年度白衣式が行われました。

平成 28 年 4 月 1 日、たちばなホールにて新 5 年生 104 名の白衣式が厳かに行われました。

岡田医学部長のお言葉をいただいた後、student doctor 証書が岡田医学部長から 5 年生代表に授与されました。引き続き、岡田医学部長、細川教務部長から student doctor 章が 5 年生ひとりひとりの白衣の左袖につけられました。その後、新 5 年生を代表し柳澤彩乃さんが臨床実習に当たっての決意を熱く述べ、佐藤学長、羽生田病院長、小池看護部長からは暖かい激励のお言葉をいただきました。式の最後には、代表の阿藤文徳さんが宣誓文を読み上げ、全員が復唱して学生宣誓が行われ、新 5 年生の臨床への道の扉が開かれたのでした。白衣式の後にはレストランオレンジにおいて懇親会が開かれ、リラックスしたひとときを過ごしました。

